

吹田市強靱化地域計画
「起きてはならない最悪の事態」ごとの進捗状況（令和7年度）

【進捗評価の基準】

S：目標を大きく達成している、又は目標の達成に向けて計画以上に進んでいる。

A：目標を達成している、又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる。

B：目標を達成していない、又は目標の達成に向けた進捗が少し遅れているが、計画最終年度には目標を達成する見込みである。

C：目標を大きく下回っている、又は目標の達成に向けた進捗が遅れており、取組の強化が必要である

実績が算出できない場合

－：調査が行われていないもの

未：調査はしているが結果がでていないもの

O：感染症の影響等により、取組自体を行っていないもの

※ なお、令和7年度実績に、「O」の進捗評価はありませんでした。

※指標番号は、「指標の進捗状況（令和7年度）」に記載しています。

令和8年(2026年)3月31日時点

起きてはならない最悪の事態		進捗評価	対応する指標番号						合計	令和7年度評価
1-1	住宅・建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生	S	カー3	キー4	コ				3	A
		A	ウー1 クー1	ウー2 クー1	オー1 ケー2	カー1	キー1	キー3	9	
		B	オー2	クー2					2	
		C	アー1						1	
		O							0	
		－	エ						1	
1-2	住宅密集地や大規模集客施設等における大規模火災による多数の死傷者の発生	S	カー3	キー4	コ				3	A
		A	ウー1 クー1	ウー2 クー1	オー1 ケー2	カー1	キー1	キー3	9	
		B	オー2	クー2					2	
		C	アー1						1	
		O							0	
		－	エ						1	
1-3	突発的又は広域にわたる市街地等への浸水及び長期的な冠水による多数の死傷者の発生	S	カー3	キー4	コ				3	A
		A	ウー1 クー1	ウー2	オー1 ケー2	カー1	カー2	キー3	7	
		B	オー2	カー4	クー2				3	
		C	アー1						1	
		O							0	
		－							0	
1-4	土砂災害（深層崩壊）等による死傷者の発生	S	カー3	キー4	コ				3	A
		A	ウー1 クー1	ウー2	オー1 ケー2	カー1	カー2	キー3	7	
		B	オー2	カー4	クー2				3	
		C	アー1						1	
		O							0	
		－							0	
2-1	被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止	S	カー3						1	A
		A	アー2 クー3	オー1	カー1	カー2	カー5	クー1	7	
		B	オー2	クー2					2	
		C							0	
		O							0	
		－							0	

起きてはならない最悪の事態		進捗 評価	対応する指標番号						合計	令和7年度 評価	
2-2	長期にわたる孤立地域等の同時発生	S	カー3	キー4	コ					3	A
		A	ア-2 カー2	イ カー5	ウ-1 キー3	ウ-2 ク-1	オー1 ク-3	カー1		11	
			B	オー2	カー4	ク-2					
		C	ア-1							1	
		O								0	
		—								0	
		2-3	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足	S	カー3	コ					
A	オー1			カー1	キー3	ク-1				4	
B	オー2			ク-2						2	
C										0	
O										0	
—										0	
2-4	想定を超える大量の帰宅困難者の発生、混乱			S							
		A	オー1							1	
		B								0	
		C								0	
		O								0	
		—								0	
		2-5	医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給、必要な水資源の途絶による医療機能の麻痺	S	カー3						
A	ア-2 ク-3			オー1	カー1	カー2	カー5	ク-1		7	
	B			オー2	ク-2						
C										0	
O										0	
—										0	
2-6	被災地における疫病・感染症等の大規模発生			S	カー3						
		A	ア-2 ク-3	オー1	カー1	カー2	カー5	ク-1		7	
			B	オー2	ク-2						
		C								0	
		O								0	
		—								0	
		2-7	劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生	S	カー3						
A	ア-2 ク-3			オー1	カー1	カー2	カー5	ク-1		7	
	B			オー2	ク-2						
C										0	
O										0	
—										0	

起きてはならない最悪の事態		進捗 評価	対応する指標番号						合計	令和7年度 評価
3-1	被災による現地の警察機能の大幅な低下による治安の悪化、 社会の混乱	S							0	A
		A	キ-3						1	
		B							0	
		C							0	
		O							0	
		—							0	
3-2	庁舎被災による市役所機能の大幅な低下	S							0	A
		A	キ-1	キ-3	ケ-1	ケ-2			4	
		B							0	
		C							0	
		O							0	
		—	エ						1	
3-3	地域の防災行政施設と行政職員の被災による機能の大幅な低下	S							0	A
		A	キ-1	キ-3	ケ-1	ケ-2			4	
		B							0	
		C							0	
		O							0	
		—	エ						1	
4-1	防災・災害対応に必要な通信インフラの麻痺・機能停止	S	カ-3	キ-4	コ				3	A
		A	イ カ-5	ウ-1 キ-1	ウ-2 ク-1	オー-1 ケー-1	カー-1 ケー-2	カー-2	11	
		B	オー-2	カ-4	ク-2				3	
		C	ア-1						1	
		O							0	
		—	エ						1	
4-2	テレビ・ラジオ放送の中断等により災害情報が必要な者に伝達できない事態	S	キ-4	コ					2	A
		A	イ	ウ-1	ウ-2				3	
		B							0	
		C	ア-1						1	
		O							0	
		—							0	
4-3	災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず、避難行動や救助・支援が遅れる事態	S	キ-4	コ					2	A
		A	イ	ウ-1	ウ-2				3	
		B							0	
		C	ア-1						1	
		O							0	
		—							0	

起きてはならない最悪の事態		進捗 評価	対応する指標番号						合計	令和7年度 評価
5-1	サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下及び食料等の安定供給の停滞	S	カー3	キ-4					2	A
		A	ア-2 カー5	ウ-1 ク-1	ウ-2 ク-3	オー1	カー1	カー2	9	
		B	オー2	ク-2					2	
		C	ア-1						1	
		O							0	
		—							0	
5-2	エネルギー供給の停止による、社会経済活動等の維持への甚大な影響	S	カー3						1	A
		A	オー1	カー1	カー2	カー5	ク-1		5	
		B	オー2	ク-2					2	
		C							0	
		O							0	
		—							0	
5-3	重要な産業施設の損壊、火災、爆発等	S	コ						1	A
		A	カー2	キ-1	キ-2	キ-3	ケ-1	ケ-2	6	
		B	カー4						1	
		C							0	
		O							0	
		—	エ						1	
6-1	電力供給ネットワーク(発電所、送配電設備)や都市ガス供給、石油・LPガスサプライチェーン等の長期間にわたる機能の停止	S	カー3						1	A
		A	オー1	カー1	カー2	カー5	ク-1		5	
		B	オー2	ク-2					2	
		C							0	
		O							0	
		—							0	
6-2	上水道等の長期間にわたる供給停止	S	カー3						1	A
		A	ア-2 ク-1	オー1 ク-3	カー1	カー2	カー5	キ-3	8	
		B	オー2	ク-2					2	
		C							0	
		O							0	
		—							0	
6-3	下水処理施設やごみ処理施設等の長期間にわたる機能停止	S	カー3						1	A
		A	オー1	カー1	カー2	カー5	ク-1		5	
		B	オー2	ク-2					2	
		C							0	
		O							0	
		—							0	
6-4	交通インフラの長期間にわたる機能停止	S	カー3	コ					2	A
		A	オー1	カー1	ク-1				3	
		B	オー2	ク-2					2	
		C							0	
		O							0	
		—							0	

起きてはならない最悪の事態		進捗 評価	対応する指標番号						合計	令和7年度 評価
6-5	防災インフラの長期間にわたる機能不全	S	カー3						1	A
		A	オー1	カー1	カー2	カー5	クー1		5	
		B	オー2	カー4	クー2				3	
		C							0	
		O							0	
		—							0	
7-1	地震に伴う市街地の大規模火災の発生による多数の死傷者の発生	S	カー3	キー4	コ				3	A
		A	ウー1	ウー2	オー1	カー1	キー1	キー2	10	
		B	キー3	クー1	クー1	クー2			2	
		C	オー2	クー2					1	
		O	アー1						0	
		—	エ						1	
7-2	沿線・沿道の建物倒壊に伴う閉塞、地下構造物の倒壊等に伴う陥没による交通麻痺	S	カー3	コ					2	A
		A	オー1	カー1	キー1	クー1	クー1	クー2	6	
		B	オー2	クー2					2	
		C							0	
		O							0	
		—	エ						1	
7-3	ため池等の損壊・機能不全による道路機能の停止、浸水被害による死傷者の発生	S	カー3	コ					2	A
		A	オー1	カー1	カー2	クー1			4	
		B	オー2	カー4	クー2				3	
		C							0	
		O							0	
		—							0	
7-4	有害物質の大規模拡散・流出による被害の拡大	S	コ						1	A
		A	キー2						1	
		B							0	
		C							0	
		O							0	
		—							0	
7-5	農地・森林等の被害による土地の荒廃	S							0	B
		A	カー2						1	
		B	カー4						1	
		C							0	
		O							0	
		—							0	
8-1	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態	S							0	A
		A	オー1	キー2					2	
		B							0	
		C							0	
		O							0	
		—							0	

起きてはならない最悪の事態		進捗 評価	対応する指標番号						合計	令和7年度 評価
8-2	復興を支える人材等（専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等）の不足、より良い復興に向けたビジョンの欠如等により復興できなくなる事態	S							0	対応する指標が無い ため、評価は「無し」と する。
		A							0	
		B							0	
		C							0	
		O							0	
		—							0	
8-3	広域地盤沈下による長期にわたる浸水被害等の発生により復興が大幅に遅れる事態	S	カー3						1	A
		A	オー1	カー1	カー2	クー1			4	
		B	オー2	カー4	クー2				3	
		C							0	
		O							0	
		—							0	
8-4	貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・喪失	S	カー3	キー4	コ				3	A
		A	イー キー1	ウー1 クー1	ウー2 ケー1	オー1 ケー2	カー1	カー2	10	
		B	オー2	カー4	クー2				3	
		C	アー1						1	
		O							0	
		—	エ						1	
8-5	事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態	S	カー3						1	A
		A	オー1	カー1	クー1				3	
		B	オー2	クー2					2	
		C							0	
		O							0	
		—							0	
8-6	風評被害や信用不安による生産力の回復遅れ、大量の失業・倒産等による市内経済等への甚大な被害	S	コ						1	A
		A	イー						1	
		B							0	
		C							0	
		O							0	
		—							0	